

特別
会計

滞納世帯の実態を
調査し内容把握を

問 国保税の滞納世帯の実態をよく調査し、払えない方については減免制度を活用しながら、収入の格差が

命の格差につながるような状態はどうか。

答 税金を支払う能力があるかどうかを調査した上で、納付を待つか、徴収を進めるのか、不納欠損で処理するのか判断する。差し押さえは自主納付を勧める手段で、換価は最終手段である。

訪問看護の実態
遅れているのか

問 当町は訪問看護が遅れ

ていると言われているが、実態はどうか。

答 北浜町に訪問看護ステーションができて需要は伸びている。平成22年8月の訪問看護利用者は51人である。その内訳は、他市町村に事務所がある業者の利用者は11人、町内事業所のあゆみ訪問看護利用者が40人となっている。

漁業集落排水施設の
ノロウイルス対策は

問 平成21年度に大浦地区漁業集落排水施設のノロウイルス対策として、強力な滅菌装置が設置されたが、その効果の検証はまだできていないようだ。実際のウイルス除去率はどうなっているか。

答 漁業集落排水施設に紫外線滅菌装置を設置する前の調査では、平成21年10月、11月はノロウイルスは検出されなかったが、12月には11万3000個検出され、3730個排出されたので、除去率は96・7%である。

22年8月11日から3月2日まで11回の検査を行う計

画で、すでに2回分の採水をして環境保健センターに送っている。

下水道の遊水池設置
計画に変更はないか

問 山田地区、織笠地区の公共下水道については、当初予算の審議の中でも補助金の配分が少ない傾向だが、平成27年供用開始と答弁があった。

答 遊水池をつくり、できるだけ浄化して海へ入れる事について検討すると答弁があったが、その内容に変わりはないか。

問 遊水池で大腸菌が増殖することも考えられるので、流れるような私たちも考え詳細設計で検討していく。

下水供用開始に伴う
説明会の開催時期は

問 下水道の供用開始に伴い、山田地区については住民に負担を求めるが、住民説明会はいつの時点であるのか。

答 平成25年に説明会を行いたいと考えている。

反対
討論

一般会計

■山崎泰昌 議員

以下の点について反対する。

1つ目は、重要なポストである会計管理者に元職員を任命した事実と町民の方々に混乱を招いている事実に対し、何も対応しないこと。2つ目は、土木B級業者の疑惑に対して再調査もせず放置していること。そして3つ目は、前日の決算委員会で承認されなかったのに、何の変更もなくそのまま上程してきたこと。これら3つに対してである。

反対
討論

一般会計

■佐藤照彦 議員

本決算に反対する理由の第1は、元職員と土木A級業者が逮捕、起訴され、不正行為があった疑いがあることである。第2の理由は、小学生までの医療費無料化などの子育て支援対策、高齢者福祉対策や障害者福祉対策などが積極的に講じられてこなかったことである。第3の理由は、県内最下位グループにある町民所得を向上させる意欲的な取り組みが表れていないことである。



山田下水処理場完成予想図
(場所は県立山田病院の北側です)